

# 県政活動報告

発行者/皆川いわお  
〒400-0031 甲府市丸の内3-6-2  
TEL 055-222-5313  
FAX 055-233-3301  
E-mail: minagawa@nns.ne.jp  
<http://www.nns.ne.jp/pri/minagawa/>  
YAHOO JAPAN 検索「皆川いわお」

## 議会運営委員会委員長に就任

### 皆川いわお県議 県内外を視察・調査

#### 暮らしやすさの水準を高めたい

皆川いわお県議は平成二十七年十二月、山梨県議会運営委員会委員長に就任した。今後、県議会の会期の決定や、議事日程、議席の決定に関すること、また、常任委員の選任などについて協議していく。また、皆川いわお県議は山梨県の「暮らしやすさ」の水準を高めるため、県内外への視察と調査活動を展開し、県政全般にわたって課題を明らかにし、提言した。

#### 県内外の視察・調査 山梨の明日を見つける

#### 香川県のひきこもり支援 サポーターの養成、派遣も

香川県におけるひきこもり支援の取り組みは、保健所にひきこもり担当を配置。ひきこもり地域支援センターと連携し、ひきこもりに関する相談や訪問、家族教室、関係者向け研修会などを行っている。サポーターの養成研修・派遣事業にも積極的だ。

NPO法人KHJ香川県オリブの会は、ひきこもりの子をもつ親・家族の会で、必要とする支援を行政とともに協働して行なっている。そして「社会から孤立しな

#### 高松丸亀町の再生 土地の所有と利用の分離

社会背景、商業環境の大きな変化で、シャッター通りとなつてしまった商店街。ここからの再生への発想が「土地の所有権と使用権の分離」だ。地権者の出資で作つた会社がすべての商店の地権者と定期借地権契約を結んで、その使用権を取得し、会社が建物を整備・所有する。そして、テナントの家賃収入か

#### 空き家率の高い高知 はじまった対策推進事業

山梨とともに、全国でも空き家率の高い高知県。空き家は震災などで倒壊して避難道路をふさぐ、小動物の巣となり衛生上もよくない、防犯においても問題の原因となるなど、いろいろな問題の原因となる。そこではじまったのが、空き家対策推進事業。空き家の適性管理や改修・活用（賃貸・売買）、解体に至るまでの相談に対応する。このことは、所有者のリスクやコストの軽減にもなる。

#### 頑張る中小企業を応援 松山市の振興基本条例

松山市中小企業振興基本条例は、平成二十六年四月の施行。松山市の全企業の九割以上は中小企業で、松山市の就業人口の八割は中小企業で働き、中小企業は多くの市民の雇用をになう。条例の推進組織は、民間主導の中小の企業振興円卓会議。産学官連携による取り組みだ。この視察の後、山梨県議会において三月三日、「山梨県中小企業・小規模企業振興条例」が可決された。

#### 患者・家族の総合支援 四国がんセンター

愛媛県におけるがん医療の中心的役割をにない、全国に先駆けて「がん相談支援・情報センター」を設置したほか、「地域医療連携研修センター」を建設。施設内に「患者・家族総合支援センター」をオープンした。高齢化社会においては、さまざまな合併症のがん患者が多くなる。また合併症のがん患者が多くなる。したがって、総合病院内にがんセンターがあることが望ましい。山梨では、すでに山梨県立中央病院がこのことに対応して、全国から注目されている。



農政産業観光委員会「ファナック」のロボット事業を視察する皆川いわお県議（中央）

#### 灘中・高等学校 完全一貫教育で成果

中高六年完全一貫教育を行なう併設型の中・高等学校。完全というのは、生徒が入学したときに、



全国有数の進学校、灘中・高等学校を視察し、意見交換をする皆川いわお県議

#### 先進の地域医療を目指して

#### 山梨大学医学部附属病院 山梨県立中央病院

山梨大学医学部附属病院では①病院再整備事業の概要 ②内視鏡手術支援ロボット「ダヴィンチ」の概要 ③県内医療機関への医師派遣の状況 ④医学部卒業生（看護科を含む）の県内就職状況 ⑤臨床研修医の受け入れ ⑥寄付講座の実施状況について、視察と調査を行なった。

山梨県立中央病院では①救急医療センターの現状と課題 ②ドクターヘリ、ドクターカーの運用状況 ③総合周産期母子医療センターの現状と課題 ④通院がん治療センターの現状と課題 ⑤空き病棟の再開見込み ⑥臨床研修医の受け入れなどについて、視察と調査を行なった。

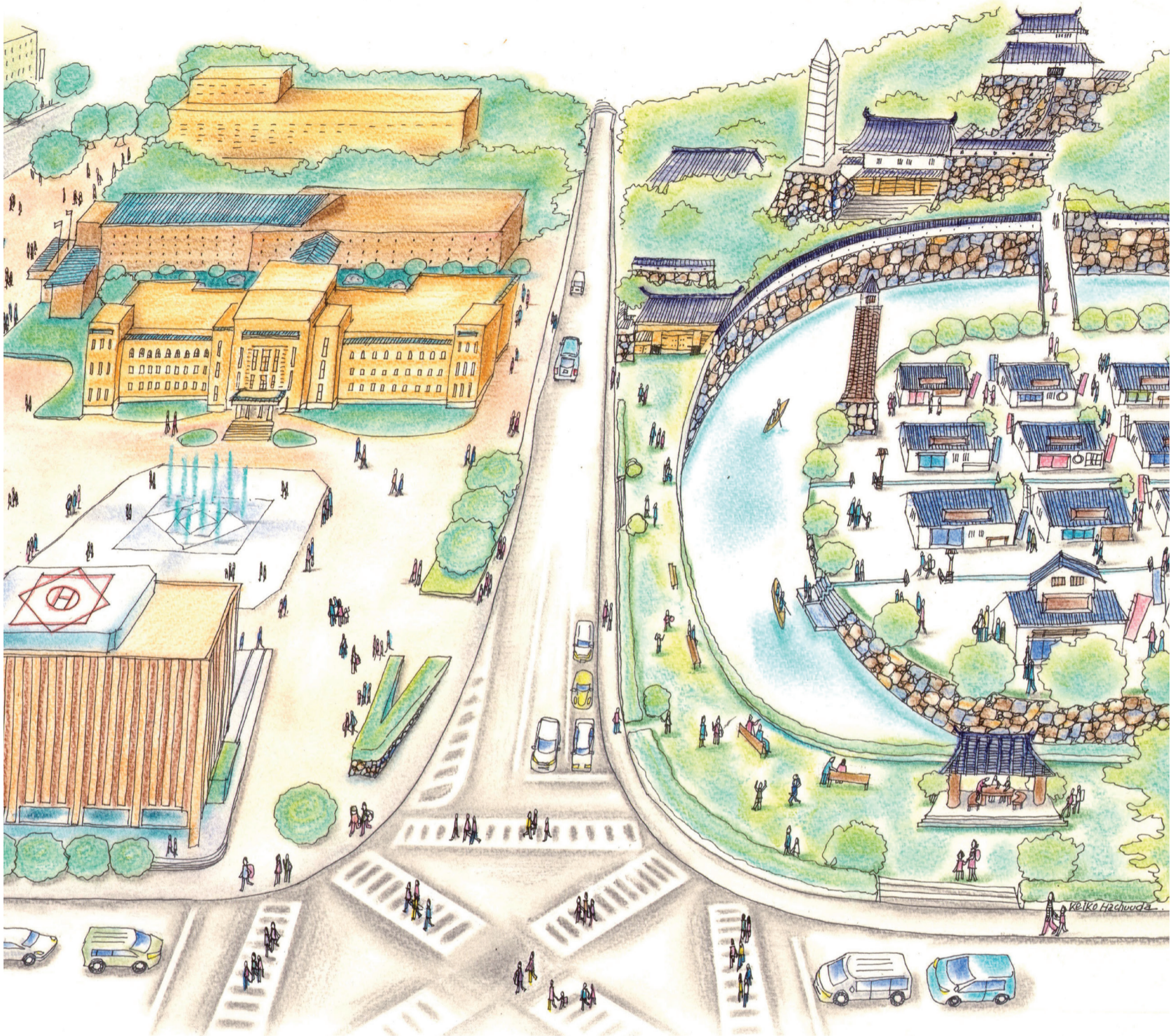


議会運営委員会委員長に就任した皆川いわお県議



# 県庁のオープン化と甲府城

## 緑とうるおいのあるまちづくり



山梨県庁敷地が、歴史と文化の香りが漂うみんなの憩いのスペースとして、平成二十八年四月、新しく生まれ変わる。すでに愛称も「オープンガーデンやまなし」と決定。この県庁敷地の「オープン化」は、平成二十二年九月定例県議会において、皆川いわお県議の発言にあり、甲府城の整備とともに、緑とうるおいのあるまちづくりが進行している。

議事堂前は、平和通りに面した開放的な緑地帯に、中庭は南アルプスの白鳳石を配置した庭園に、前庭は噴水のあるオープンな広場になり、イベント会場として活用できるほか、災害時には緊急車輛・物資の拠点になる

### 県庁のオープン化と甲府城の整備 議会質問とこれまでの なごれ

#### 皆川いわお県議の質問

甲府市中心市街地の商業活性化対策だが、甲府駅から県庁舎や舞鶴公園を抜け、歩いて買物が楽しめるまちにしていきたいことが重要だ。(平成二十一年九月定例県議会)

#### 皆川いわお県議の質問

県庁敷地のオープン化にあたっては、隣接する甲府城などの周辺環境、歴史的景観との調和を配慮したい。人と車の流れを分離するとともに、緑地を多くし、潤いがあり、歴史展示室や議事堂などの文化財を見にくる人や、誰もが訪れたい開放感のあるものになりたい。

#### 総務部長答弁

県民に親しまれる開かれた県庁としていくため、敷地についても県民に身近で利用しやすいものにしていきたい。歩行者と自動車との動線の分離を図り、緑化を進めたい。県指定文化財の一体的な活用を図りながら、憩える場にした

(平成二十二年九月定例県議会)

#### 皆川いわお県議の質問

県庁の敷地は山梨県の玄関口の甲府駅南口から、甲府市中心市街地や甲府城への動線上にあり、甲府を訪れる人々の行動を導く重要な役割を担う。ことに甲府城を中心とする歴史・文化拠点へのアプローチゾーンだ。

こうしたなか、県庁の敷地は緑豊かで、多くの方に身近で、利用しやすい開かれた空間として、ま

た、山梨の魅力を再認識してもらえ、整備を行う必要がある。

#### 知事答弁

甲府城や中心市街地への人の流れを促すと同時に、県民や観光客が憩える開放的な空間にすることを基本的な整備方針にしたい。(平成二十五年十一月定例県議会)

### 皆川いわお県議 スポーツ振興の 推進役に

東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、県民のスポーツ振興を図ることを目的に「山梨県議会議員連盟研究委員会」が発足、委員長に皆川いわお県議が選任された。

オールジャパンで、東京オリンピック・パラリンピックに取り組みようと、全国規模のシンポジウムも開催されて出席。今後は、県民のスポーツに対する意識の啓発や、競技力向上、競技環境の改善などが促進されていく。

議会で発言する皆川いわお県議

